



まくべつ

わたしたちのまち

(昭和59年10月1日現在)

人口	21,585	(-11)
男	10,625	(-8)
女	10,960	(-3)
世帯数	6,527	(-2)

人のうごき(9月中)

転入	55人	転出	76人
出生	20人	死亡	10人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



ミパンの花、づくりに熱中

村田恵子さん(43歳・宝町・主婦)は、小麦粉を材料にして花や人形を作っています。東京で講習会を受けたのがきっかけで、6年前から始めました。「小さいものでしたら2、3日でできますが、実際の色を出すのは苦勞します。しかし、作品が完成した時はなんととも言えません」と花びら1枚1枚に色を着けながら話していました。

施設を見て町政を理解

町づくり見学会に百余人

昭和59年度の町づくり見学会が、10月19日から21日の3日間行われ、合わせて108人が参加し、町づくりの現状を見学しました。

この見学会は、町民の皆さんに施設を見ていただき、町づくりをより深く理解していただくというものです。参加者の中には、町の施設とはいえ初めて訪れる場所も多く、どの人も熱心に説明を聞いていました。トレーニングセンターなど7カ所を見学したあと、林町長を囲んで座談会も行われました。

見学箇所の紹介と座談会の内容をお知らせしますので、参加できなかった皆さんも、町づくりについて考えてみませんか。

1 農業者トレセン

— 錦町九八 —

町民の体力、健康づくりをねらいとして、昨年の十月にオープンしました。これまでの延べ利用者は四万九千一人で、一日平均百六十



明野ヶ丘公園では完成した施設を見ながら園路を散策

2 明野ヶ丘公園

— 明野 —

この公園は、日帰り利用を考えたレクリエーション施設として、また、町内の各種行事ができるレジャー公園として整備を進めています。昭和五十三年度から本年度までに約三億千五百万円を掛けて、ミニアスレチック、野外ステージ、展望広場、芝生広場、給水施設、駐車場などが完成しています。

六人になります。(昭58・10・59・9) トレーニング室には、約二十種類の体力づくり器具や体力測定器がそろっていて、日ごろの運動不足を解消しようと、毎日たくさんの人が汗を流しています。

個人の使用は無料です。当日、窓口で受け付けをしてご利用ください。必ず運動靴を履いて入館してください。休館日は毎週火曜日です。

◇トレセン事務室 ☎54-2106

「町民の手で公園のシンボルを作ろう」と、芝桜一株運動推進委員会の呼び掛けで、二年目の今年は九月二十九日に町民約百人が参加して、四千株の芝桜を植え込みました。計画

3 給食センター

— 緑町十九 —

では、今後三、四年間で、北側斜面一帯に植栽する予定です。



参加者は千代田えん提でサケのそ上的様子も見学

幕別町と豊頃町とが共同で設置したもので、幕別中学校横に昭和四十二年に建てられました。調理や食器洗いが自動的にでき、野菜裁断機、皮むき機、蒸気がなども備え付けられており、給食能力は一日最大六千食。幕別、豊頃の全小中学校(二十五校)、四千二百五十人の児童・生徒、先生の給食を作っています。

4 浄化センター

— 明野五 —

下水道は、家庭の台所やふろな



たかぎまさおさん(58) (寿町・団体職員)

昨年(昭和58)に続き、二度目の町づくり見学会の参加になりましたが、参加者約百人の八割を占める女性の参加に、当を得た企画と生活に密着する住民意識の心強さを感じました。

約十年の歳月と六十億円あまりを投じた浄化センター。わが



たかだみゆきさん(36) (札内あかしや町・主婦)

まちづくり
見て聞いて……

幕別の住民になって二カ月半、早くこの町に慣れようと、家族で見学会に参加しました。

浄化センターや浄水場など、私たちが生活していくために必要な施設等を見学し、関係者のご苦勞がよく分かりました。ゴミ埋め立て地では、深い谷間を見下ろし、日常生活から出るゴミの処理にばく大な経費がかかることが現解できました。使い捨ての今の時代、物を大切に使う意義を改めて感じました。

公共施設に対する理解と、それを使用する人たちのマナーの大切さを強く感じた一日でした。

どの生活排水、あるいは工場排水などをきれいにして川に返す施設です。このように、汚水をきれいな水に生まれ変わらせるために一カ所に集め、生物化学的な処理を行うのが下水処理場です。下水道事業は、昭和五十年に着工し、今年度五月一日から供用を開始しました。約三・一畝を有する敷地内には、管理本館や処理施設が設置され、中央管理システムによって行うことのできる近代的な施設で、ここに集められた汚水は、高級処理がなされ猿別川に放流されています。

5 浄水場

—猿別—

水道は、健康で快適な町民生活に不可欠な施設です。本町の水道は、昭和二十八年から給水が始まりました。その後、四十八年から札内市街を含めた第一期拡張工事として、給水人口二万人の規模で着工し、五十年に給水が開始され、現在、一万四千五百人の給水人口を有しています。水道普及率は七七%（幕別地区九八%、札内地区六二%）で二三%が井戸などを利用しています。

また、水道事業の健全運営のため、七月一日から三年ぶりに水道料金が値上げされました。

6 豊岡ゴミ埋め立て地

—豊岡—

一般家庭から出される燃えないゴミや大型ゴミ（家具などのガラクタ類）、産業用廃棄物を埋め立て処理する所として、昭和五十年に設置されました。町の年間ゴミ収集量は一万百ト（燃えるゴミ二千八百ト、燃えないゴミ七千三百ト）にもなり、処理に約六千四百万円の町費を使っています。一世帯あたりの年間処理量は千五百六十キロで処理経費は約一万円です。

また、ここに燃える生ゴミが不法投棄され、カラスによる地域住民への被害が出ています。ルール

7 途別小学校

—途別二二二—

札内市街から四キロほど入った田園地帯にある小規模校で、壁から屋根に至るまですべて白一色でホワイト・スクールと形容されています。さらに校舎のシンボルである時計台は、三面にスピーカーが備え付けてあり、時報としての鐘の音を地域に伝えられるようになっていきます。

鉄筋コンクリート造り二階建ての校舎（九百九平方メートル）と体育館（四百四十平方メートル）は、総工費二億二百四十四万円で、昭和五十七年十二月に完成しています。現在、四学級で児童数四十六人、教員数七人です。

町長を囲んでの座談会

トレーニングセンターなど七カ所の施設を見学したあと、昼食を挟んで午後からは、林町長を囲み座談会を行いました。下水道など身近な問題について、ざっくばらんに意見を交換しました。

札内地区の下水道計画は

問 下水道は、家庭の台所やふろなどの生活排水などから私たちの環境を守り、快適な生活を営むために欠くことのできない施設ですが、

答 ご存じのように、今年度五月から幕別市街鉄北地区（本町・幸町・錦町・寿町など）九百二十戸が、また、十月から鉄南地区（南町・宝町・緑町の一部）が供用開始になりました。

さて、札内地区については十勝川流域関連公共下水道として、今年度から着手しました。第一期工事（五十九年度から六十五年度まで）は、計画区域九十五軒の中に

町も環境整備が一步前進したわけであり、利用戸数の増加によるフル稼働を痛感します。ゴミ処理については、町民みんなの英知で排出量を減らすことによつて、何割かが公共施設や道路整備に充てられ、その鍵は町民一人ひとりにあると思われました。

町民として、ただなんとなく生活をして十八年になりました。最近になって、生活の本拠地を少しでも住みよい所にしよう、と遅まきながら感じ始めたところ

この度の施設見学に参加しまして、生活に深くかわかってい

小林静代さん (48)
(札内春日町・教員)

佐藤勝雄さん (64)
(札内若草町・無職)

(次のページに続く)

生活排水の処理の過程を学んだ浄化センター



住む四千八百人を対象として、約二十六億円の事業費を見込んでいます。本年度は、国道38号線の拡幅工事に合わせて、圧送管六百以上の敷設を行っています。札内市街は、十勝川流域下水道幕別町、帯広市、音更町、芽室町の一市三町で共同して汚水処理場を設けている(向って逆こう配であるため、中継ポンプ場「春日団地東側」を設置して圧送しなければなりません。計画では、六十二年度から二カ年で、中継ポンプ場の建設を予定しています。その後、十勝川流域下水道と接続される予定ですが、接続されずと、中央町、春日町、青葉町、泉町とあかしや町の一部が供用開始になります。

焼却炉の購入で ゴミの減量を

問 豊岡ゴミ埋め立て地を見学しましたが、ゴミ処理にたくさんのお金が使われているのを知りました。私の公区では、家庭用のゴミ焼却炉を購入して、ゴミの減量に努めています。町衛生会があつておられる焼却炉は、どのくらい購入されていますか。
答 皆さんの家庭から出されるゴミは、年々増えています。豊岡ゴミ埋め立て地は、燃えないゴミや大型ゴミなどを埋め立てて処理する所ですが、町の年間のゴミ処理経費は約六千四百万円にも上ります。一世帯当たりの年間処理経費は、約



日常生活に密着したことを中心に意見を交換

一万円かかっています。各家庭で焼却炉を購入していただき、ゴミの減量に努めてほしいと思います。ゴミの量を減らすことは、処理する費用もそれだけ少なくなり、その分の税金を道路整備などに、ほかの事業に使うことができます。また、埋め立て地をそれだけ長く使用できることにもなります。

町衛生会が、昭和五十七年からあつておられます焼却炉は、この三年間で三百四十四基設置され、ゴミの減量に大いに役立っています。どうか皆さんの協力で、ゴミの量を少しでも減らしていただきたいものです。

幕別温泉ホテルの 改築計画は

問 幕別温泉ホテルは、昭和四十三

年にオープンして以来、十六年になります。老朽化も激しく、修繕料をかけるよりも改築した方がよいと思いますが。
答 道内では最大規模の国民宿舎として、四十三年にオープンした幕別温泉ですが、年間利用者は宿泊客が三万人あまり、日帰り客が約十六万人となっています。五十七年十二月には浴場が改築され、帯広市の夜景を見ながら楽しめるようになりました。



参加者に説明をする林町長(右)

ご指摘のとおり、本館の老朽化も激しく、横に長いため無駄な労働力が必要になってくるようです。単年度における経営収支は、黒字を計上しています。しかし現在、新増築をした時に借り入れた地方債が約一億円残っています。この償還が終わるのは、昭和六十五年になる予定です。改築については、そのあとになると考えています。また、温泉の運営管理などについては、国民宿舎運営委員会の意見

見などをお聞きして進めたいと思います。

将来の水不足に備え 計画はありますか

問 町の上水道は、給水人口二万人、一日最大給水量六千トンとなっていますが、今後、下水道の普及などで水の需要が増大すると思います。将来の水不足に備えての計画はありますか。
答 言われるとおり、人口増加や生活様式の多様化などのため、水需要が増大しています。最近では水源である河川や地下水は望めなく、市町村独自の水道水源開発は極めて困難になってきております。このため、一市六町村(幕別、帯広、池田、芽室、音更、中札内、更別)で組織する「十勝中部広域水道企業団」による広域水道用水供給事業で、整備を進めています。五十七年から管きよ敷設工事に入ったこの事業は、総工費三百六十億円をかけ、札内川ダム下流のピョウタンの滝付近で、一日最大十四万トンの水を取水。浄水場でろ過して、それぞれの加盟市町村の配水地まで送水する事業です。給水開始は、六十六年度になる予定です。

このほかにも多くの意見、質問がありました。紙面の関係で、その一部を掲載させていただきます。

とともに町づくり見学会に参加しました。幸い、日本晴れの好天に恵まれ、七カ所の施設を楽しく見学させていただきました。有意義な一日でした。

トレーニンングセンターを見学し、冬季間の長い幕別では、この施設の完成が、町民ごぞつての喜びであったと思いました。特に階上に設けられたトレーニンング室は、数々の機器が設置され、体力増進を図る人々が自由に気軽に利用できるようにされている点について、深く感動いたしました。



まえだたえこ
前田妙子さん (58)
(札内中央町・主婦)

紅葉も美しい秋晴れの好天に恵まれて、地域の方々や町づくり見学会に参加しました。

最初のトレセンでは、体力健康づくりの器具に触れ、使ってみて、近い地域への設置に望みを託しました。名所となるでしょう明野ヶ丘公園は、芝桜一株運動に参加したこともあって楽しみでした。すばらしい展望です。ますます発展する幕別町を一望し、広い未完成の公園を急いであとにするのは惜しいくらいです。ごみ埋め立て地では、日ごろのごみのより良い始末こそ、身近な町政参加と痛感しました。

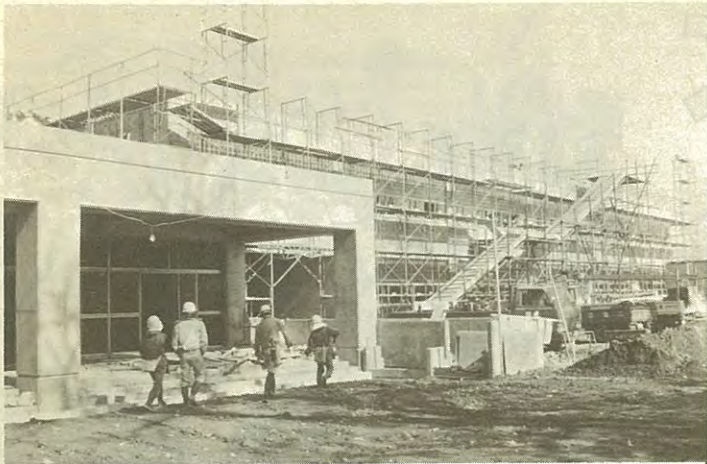
よ り 快 適 な ま ち に

工 事 追 い 込 み 季 節

深まる秋と競うように、町が進める各所の建設工事が追い込み期に入っています。

町では今年度、道路、上下水道、公園、住宅などの生活環境や教育施設の整備を進めています。

急ピッチで進められているこれらの中から、主なものをご紹介します。さて、あなたの近くでは、何ができるでしょうか……。



札内東中学校

町内5校目の中学校。教室はすべて南向きで、明るい環境の中で学習ができるよう配慮され、ゆとりある教育、を目指し、廊下には語らいができるベンチのあるコーナーや、中庭には集会、ミニコンサートなどができる多目的の広場も設けられます。普通学級9、特別学級1の10学級規模。鉄筋コンクリート造りの2階建て。(1部3階)

開校は来年4月



白 人 公 園

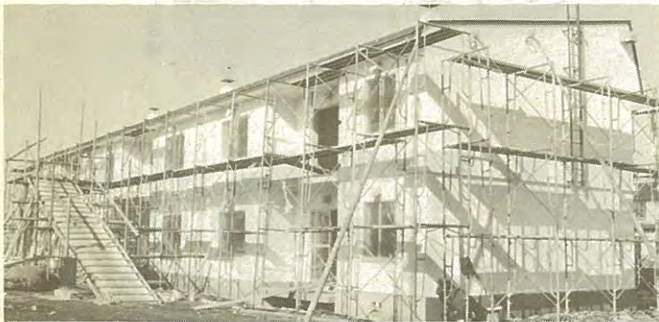
住民が自由に散策し、軽スポーツが楽しめる場所として芝生広場、わき水を使った人工池、駐車場などが設置されます。工事進捗よく率五〇%、工費は一千二百万円。

本格利用は来春から

地域住民の活動の場として、町内三十二番目の近隣センターです。木造モルタル平屋建ての百六十二平方メートルで、集会室、和室などが設けられます。工事進捗よく率八五%、工費は一千六百二十万円。

使用開始は11月中旬

若草町近隣センター



公 営 住 宅

新緑町、札内桂町にそれぞれ1棟6戸(3LDK)を建設中です。コンクリート造り2階建てで、1戸当たりの面積は約69平方メートルとなっています。工事進捗よく率は85%、工費は8,957万円。

入居開始は11月下旬



快い秋空の下 まつり全開!



天気にも恵まれ1万人の人出でにぎわいました

たんぼ
札内西町の丹保です。
釣り上げた野菜の中に入っていた
クジが1等賞でメスの秋味が当た
りました。こんなことは初めて
なのでビックリしました。

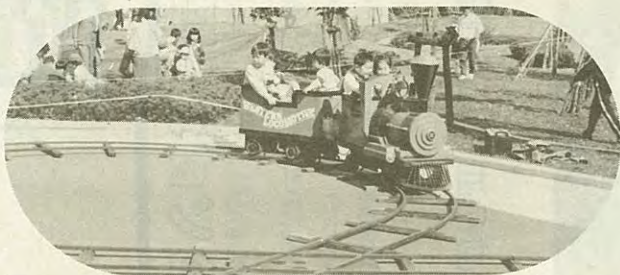


芝生の上ではあちらこちらで
秋の味覚を満喫



第7回産業まつり

“実りの秋を満喫しよう”と、第7回まくべつ産業まつりが十月七日、依田公園一帯で開かれました。会場は、秋の味覚と多彩なアトラクションを楽しもうという家族連れなど一万人の人数があり、野菜釣り大会、コイのつかみ取りなどのユニークな企画が人気を集めていました。



ミニSLはちびっこに大もて



会場には木炭自動車も登場



お目当ての野菜を釣り上げようと奮闘するお母さん



子供の人気の的はコイのつかみ取り

わが町の名物を

特産品開発推進協議会が発足

町民がこぞって自慢できる特産品を生み出すには、まず町内各層の自由な意見交換を——と設立した「特産品に係る懇話会」が発展的解消をして、特産品、文化資源の開発推進、特産品の普及・販路の拡大、支援などを目的とした「特産品開発推進協議会」が発足しました。会員は農業団体、商工会、青年・婦人団体、消費者団体、金融機関、郵便局、老人団体、観光協

会の代表、町議会議員など二十一人で構成されています。初会合が十月九日午後、役場会議室で開かれ、規約、役員を選出、事業計画などが決定されました。役員は次のとおりです。

- ▼会長・森脇仁 ▼副会長・大久保正司、飛田稔章 ▼特産品開発部長・国枝光明 ▼文化資源開発部長・木川拓二 ▼広報宣伝部長 笹井俊治 ※事務局・役場経済部

「東京幕別会」を結成 ふるさとの思い出語り合う



で行われました。町出身者や仕事の関係などで幕別町に住んだことのある人を募り、相互の親ぼくと交流、中央との情報交換を図るため、昨年からの結成準備を進めていました。この日は八十人が出席して設立総会が開かれ、林町長が「ふるさとを離れても心は一つ。会員の皆さんの情報力で幕別を発展させたい」とあいさつし、会則の承認、役員選出が行われ、野本弘発起人代表が初代会長に選ばれました。続いて懇親パーティーに移り、ア

東京近郊在住の幕別町出身者のふるさと会・東京幕別会が十月十四日、東京都千代田区の番町グリーンパレス(旧名「番町共済会館」)

トラクシオンには幕別町出身の民謡歌手・横川正美さんがお弟子さんを引き連れて出演し、民謡と三味線で雰囲気盛り上げました。



旧交温め昔話に花を咲かせました

役員は次のとおりです。

- ▼会長・野本弘(新田ベニヤ工業専務取締役) ▼副会長・森田義夫(衆議院法制局調査課参事、森茂(新田ベニヤ工業千葉工場長) ▼幹事 小沢康二(新田ベニヤ工業総務部長)、米森喜代松(帝國繊維(株)管理部長)、上田欣也(朝日火災海上保険副部長)、新井山博親(新田ベニヤ工業経理課長)、高橋俊郎(蚕糸砂糖類価格安定事業団人事課補佐)、荒井邦男 ▼監事・森俊子(品川芳水小学校)、早乙女勝(拓銀高尾支店長代理)

「東京幕別会」事務所

東京都中央区銀座八ノ二ノ一
新田ベニヤ工業株式会社
☎03(571)9218

健康

相談

質問

三歳になる息子のことが多く、最近、反抗することが多く、どうしたら良いか困っています。小さいころから、両親ともしつけには厳しかったつもりですが……。今になって迷っています。どう考えていったら良いのでしょうか。(緑町・主婦)

お答え

幼児のしつけについては、親の関心の深いところですが、時々しつけに対する親のまちがった考えが、子供のしつけを難しくしている場合があります。親の都合によって、理想像を一方的に押し付けたりはしていません。親の都合が大切なのは、子供の持つ基本的性格を知り、発達に合ったことを教えるということです。

具体的には——二歳児では、食事・着脱等の基本的生活習慣について。三歳児では、家と外のけじめや公共の場でのルール等。四歳児では、他人への思いやり

を養い、集団ルールを守ることで中心です。ただ、子供の生活空間が広がると、新たに必要な課題が次々浮かびますね。では実際、子供をしつける場合、罰を与えて強制するより、結果が完全でなくとも褒めてやることの方が効果的です。逆に、叱ることが必要な場合もあります。体罰はできるだけ避けたい方がよいと思いますが、時には親が子の聞き分けのなさをよく悩むより、一時的に罰を与えた方が子にとっても苦痛とならないこともあります。

さて、ご相談のお子さんですが、反抗は自立の裏返しと、少しおおらかに考えてみてはいかがですか。子供が自分自身の欲求をはっきり認識し、主張できるようにすることを示しているのです。いわば順調な発達のあかしであり、自立への第一歩です。

日常生活の中で、子供の「イヤ」「ダメ」が増えてきたことを反抗と考えると、ほんとうに聞き分けのない子」などと会話が終っている場合が多くありませんか。しかし、そこをスタートとして楽しい会話が始まったと考えるください。その先はいくらでも思い浮かぶでしょう。日常の親子のふれあいを通して培われた愛情で、きっと良い方向へ発達していきることと思います。大切なのは、お母さんとお子さんの太い絆であり、おらかな心構えで取り組むことです。



まちの ニュース



▶**外国人研修生がビート畑視察**
汚泥をたい肥に使用して、五%から十%のビートの増収を実現している山口正一さん(西和)のビート畑に、アジアの十三カ国・十五人の研修生が視察に訪れ、効果や汚泥の使用面積などを興味深そうに尋ねていました。



▶最新鋭機で目の検診

読売光と愛の事業団では、10月1日、2日に札内福祉センターで、道内に3台しかないという最新鋭の検眼機を使って「目の巡回無料検診」を行い、250人もの方が専門医師の指導を受けていました。



▲今年も町民の手で芝桜を植栽

「明野ヶ丘公園に町民の手で芝桜を植えよう」と、明野ヶ丘公園芝桜一株運動推進委員会(大久保正司会長)主催の一斉植栽が、昨年に続き9月29日に、100人の町民が参加して行われました。この日は雨が降り出しましたが、参加者は4,000株もの芝桜を1株1株慎重な手つきで植えていき、約1時間で終了しました。



▶**熱闘! ミニバレーボール**
町内で初のミニバレーボール大会が九月二十三日、農業者トレーニングセンターで、男女各十一チームが参加して行われました。この大会で初優勝を飾ったのは、男子がMMCチーム、女子はヤングレディーズAチームでした。



たかがき 高垣 累二さん (89歳)
駒島467

開拓当時、おかげさまでひどい病気はしなかったですが、道路もないこんな所で病気になったらと、一番心配であったね。

幕別風土記 十六

たね。今思えば、開拓当時の草小屋は人間の住む家ではなかったが、それもみんなが同じだから我慢できたもんです。

私は明治二十七年十二月六日に、岐阜県郡上郡相生村で生まれました。兄弟は男五人、女三人で私は末っ子であり、北海道へ来る前に結婚し、二十四歳の時に妻と長男の三人で北海道へ来ました。

国の特定地、十町歩の払い下げを受けて、開墾するのに風倒木やかしの大木が一反歩に十本ぐらいあった。入植したころは、まず自分たちの食べ物を作るのが第一で、駒島はヤセ地だから、ソバやイナギが主で、あとは野菜も作った。土が慣れ本当の畑になって小麦や大豆、小豆などを作っていました。

最初は北見に入ってから二年いて、いとこの畑で小作をやっていたが、新聞に幕別の駒島に開拓地があるという広告が出ていたのがきっかけで、幕別へ入植しました。

駒島地区の先住者は、高島松二郎さんの駅で、小幡吉次郎さん、新田常次郎さんら五戸であって、大正八年と九年の新聞広告があった時にずいぶん入り、私が入ったころには五十戸にもなりました。

昔は今よりも寒さが厳しかった

私の入った場所は、道路も何もないんだよ。道を付けるのに柏の木をナタで傷を付けて目印をして、それを伝って行き、そのうちに足跡がついたから行き来ができたもんです。

★ みんなの 声

本人の医療費の1割が自己負担に



本人の医療費の1割が自己負担に

本人の医療費の1割が自己負担に

本人の医療費の1割が自己負担に

健康保険法の改正内容は？
私はサラリーマンですが、十月一日から新しい健康保険法が施行されたと聞きました。改正内容について詳しく知りたいのですが……。

健康保険法の改正内容は？

(五十八歳・会社員)

◆(投書) 町に対するご意見や質問などがありましたら、お寄せください。出来事や体験なども結構です。投書には住所・氏名をお忘れなく。匿名ですと返答をお伝えするにも連絡のしようがなくて困ります。広報紙に掲載するときには、匿名希望とお書き添えいただければそのようにしますし、秘密は守ります。□あて先…… 本町130番地 総務部企画財政課広報広聴係

本人の一部負担導入と退職者医療制度の創設

■お答えします

ご存じのように、保険法が十月一日から改正されました。この主な改正点は次のとおりです。

①医療費の1割が自己負担になりました。今まで、社会保険や共済組合、健康保険組合等の「本人」について、定額(初診時八百円、入院一日につき五百円)を病院の窓口で支払えば、残りの医療費は全額健康保険法の適用になりましたが、十月一日から病院等で診療を受けた場合は、診療一回ごとに医療費の1割(十

●病種別の本人負担比較 (厚生省試算) (単位:円)

区分	医療費	窓口負担金	
		現行	改定後
かぜで3日間通院	4,410	800	500
盲腸で手術、7日間入院	157,990	4,300	15,800
心筋こうそくで10日間入院	488,720	5,800	48,870
胃がんで手術、1カ月入院	640,610	15,800	51,000 (高額療養)

(注) 胃がん手術の改定後の負担は64,060円となるが、高額療養費制度が適用となるため、一部負担金は51,000円となる。

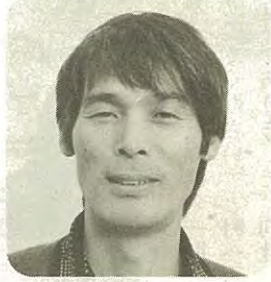
円未満四捨五入)を窓口で支払うことになりました。例えば(表を参照)かぜをひいて開業医に三日

間通院した場合は、負担額が現行の初診料八百円より三百円安くなります。盲腸の手術で一週間入院した場合は、一万五千八百円と現行の三倍以上の負担。さらに胃がんと分かって三十日間入院した場合、六万四千円あまりの負担となりますが、高額療養費制度が適用されて、五万一千円を超える額については、健康保険からあとで支払われます。

②医療費が高額となる世帯の負担の軽減を図るため「高額療養費制度」が改正されました。この制度は、医療費の自己負担(一割～三割)が一人につき、一カ月一つの病院について五万一千円(低所得者は三万円)を超えた場合、その超えた分をそれぞれの加入している健康保険が、あとから負担します。また、同じ月に同世帯で、医療費の自己負担金が三万円(低所得者は二万一千円)以上の場合が複数あった時、その額を合算して五万一千円を超えた分について、加入している健康保険があとから負担します。さらに、同一世帯で過去一年間に、すでに三回の高額医療費が支給されている場合は、四回目以降から三万円(低所得者は二万一千円)を超えた分について、加入している健康保険があとから負担します。(注・国民健康保険加入者で高額療養費制度に該当する方は、町民課国保医療係へ請求すれば「高額療養費」として払い戻しをされることとなります)

③「退職者医療制度」が創設されました。会社などを定年退職した人たちの場合、従来は国民健康保険に加入していましたが、この人たちのうちで一定の要件に該当する人については、この制度で医療の自己負担額が軽減されます。対象者には「退職者医療証明カード」を交付しますが、届け出が必要ですので、該当者および詳細については、町民課国保医療係 ☎54-2111(内線102)へお問い合わせください。

新町民登場



たかしま まさし 正始さん (41歳) 札内共栄町176

八月に神奈川県愛川町から転入してきました。家族は妻と小学六年生の息子、四年生の娘がいます。

私は関東に二十三年住んでいたのですが、そのうち十年愛川に居ました。愛川は県北西部にあり、中津川と相模川に挟まれた丘陵地で、養蚕が盛んな地域です。桑畑などの畑は多いですが、大企業の工場もいくつかあり、県内では川崎市に次ぐ工業地でもあります。

幕別へ来て、まず感じたことは、畑が広々していることと自然がたくさん残されていることです。幕別は農業が盛んですが、それに直結する産業が少ないのは寂しいですね。工業が伸びたら、さらに町も発展すると思います。

ここは食べ物新鮮でおいしいし、のんびりしているのでとても住みやすい所ですね。

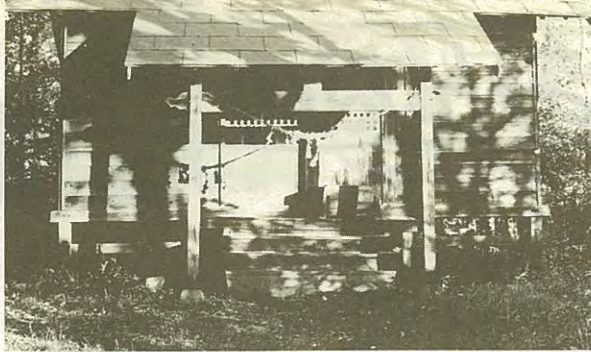
豊岡神社の 男子の本懐

第55回
幕別
お祭り

路傍の神——
開拓と信仰②
豊岡

「男子の本懐、これに勝るものはありません。」今日もまた、鳥居の下から一人の若者が元気なあいさつとともに姿を消そうとしていた。若者の歩く両側には、友達や親類から送られたたくさんのおぼりが、ひらひらとなびいていた。そのぼりには「祝入宮」と書かれてあった。

それは、太平洋戦争に出征する若者の見送りであった。召集令状の届いた豊岡の人たちは、必ずここの豊岡神社に手を合わせてから出発したという。戦地での無事を祈



豊岡神社からは十勝平野や日高山脈が一望できる

る者、残る家族の無事を祈る者、祖国の勝利を祈る者、それぞれ、さまざまな思いを胸に出征したのであろうが、皆、豊岡の丘の上から見下ろす雄大な十勝平野との再会を夢見たであろう。

豊岡神社は、正確な記録はないものの、数少ない当時の話を総合すると、大正十四年から昭和の初めにかけて建設されたものであるらしい。昔は、豊岡地区を金比羅山と呼んだ時期もあることから、金比羅山神社と呼ばれていたという。ちょうど現在のHBCのテレビ塔の隣に建てられ、神社から眺める景色としては、日高山脈のはしから東大雪まで良く見え、十勝一のパノラマと言っても過言ではない。

この神社も他の神社同様、以前は、秋祭りになると帯広から素人芝居を呼んだり、茂発谷、日新、上稲志別からも大勢の人が集まり、大変に華やかな神社のイメージに反して、文頭に書いたような悲しい神社の歴史が残っているのも、また事実である。

豊岡地区では、さまざまな思いを夢見て、神社参拝をしたにもかかわらず、六人の方々が帰らぬ人となった。



これらは、やがて語り継がれることなく、忘れさらられてしまうのであろうか。

※昭和十五年当時の祭りの予算
収入 一、六五〇銭

私の声を町長に送る旬間 道路整備など百十件

町民の皆さんが、町政について日ごろ思っていること、将来への希望や意見などをお聞かせいただく「私の声を町長に送る旬間」(十月八日～十七日)を設定しました

内容別内訳(110件)

道路整備・管理	24
環境衛生	22
教育	17
交通安全	12
農業・商業・観光	11
役場に対して	9
福祉	4
上下水道	3
その他	8

支出

ガラス	一一〇銭
ランプソボ、ホヤ	一六〇銭
半紙	二二銭
コブ	二五銭
モチゴメ(四キロ)	二四〇銭
酒(二升)	四四〇銭
御神燈修理	二五〇銭
魚	六五銭
菓子	二三〇銭
御布施	三〇〇銭
賄い	三〇〇銭
支出合計	二、〇五一銭

- 取材・横山 渡ふさと雄タツ子
- 取材協力 笹原 明雄さん
- 参考資料 豊岡地区金銭出納簿

男女、年代別内訳(85通)

年代別	～19	20代	30代	40代	50代	60代	70～	不明	計
男	3	3	4	10	13	10	10	—	53
女	—	6	10	2	3	2	2	2	27
不明	1	—	—	—	—	—	—	4	5
計	4	9	14	12	16	12	12	6	85

が、期間中に八十五通のはがきで、百十件の要望や意見がありました。寄せられたはがきは、すべて町長が目を通し、担当課と検討し回

答書を作成、本人へ直接回答いたします。

「ご寄付ありがとうございました」

- 町へ……
- ▽村上春雄さん(緑町)から緑町近隣センターへ座布団七十枚
- 町社会福祉協議会へ……
- ▽札内民謡友の会から十万円
- ▽横沢茂さん(錦町)から三万円
- 老人クラブへ……
- ▽進藤次郎さん(新川)から明野老人クラブへ一万円
- その他……
- ▽佐藤ミツ子さん(依田)から町遺族会へ三万円

十勝道路(株)から 町へ百万円寄付



林町長へ手渡す佐藤専務(右)

十勝道路株式会社(山口富嗣社長)から「町行政振興の一助として役立ててください」と町へ百万円の寄付がありました。同社は新工場の披露式と火入れ式を取りやめ、寄付されました。